



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年10月30日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

「造語・省略語」とは・・・

「へえ～、そうなんだ！」と思うことを先日新聞で知りました。



二つの単語を圧着した言葉を、造語と言います。例えば

- 映画の『ゴジラ』は、「ゴリラ」と「クジラ」から生まれました。また、
- 宮崎県の『シーガイア』は、ギリシャ神話の女神をつないだものです。
- 最近よく聞かれる『テレワーク』は、離れた所を意味する「テレ」と仕事の「ワーク」をつなげたものです。
- 仕事の「ワーク」と、休みの「バケーション」から『ワーケーション』という言葉も使われているようです。

以上、熊日新聞（10月24日発行）の「新生面」から得た情報です。「ゴジラ」の意味など考えたこともなかったのですが、一つかしこくなった気持ちになりました。

造語と逆に、省略して読む「省略語」があります。

例えば、「バイト」（アルバイト）、「コンビニ」（コンビニエンスストア）、「スマホ」（スマートフォン）、「ファミマ」（ファミリーマート）などは身近によく聞きます。

言葉の一部を省略または簡略した形で使い、元の意味を保っているものを省略語と言います。

聞き慣れた言葉だと、日常会話でも普通に使うようになり、しっかり会話が成立しています。しかし、親しい人の会話以外で、つい使ってしまうことはありませんか。

最近に気になることが、3年生の面接練習をしていて、省略語で答える場面が何度ありました。例えば、
「中学校時代に自分なりに頑張ったことは何ですか？」
⇒『部活（部活動）です。』『自学（自主学习）です。』『部活動は何部に所属していましたか？』
⇒『バスケ（バスケットボール）部です。』
⇒『バレー（バレーボール）部です。』
⇒『テニス（ソフト？それとも硬式）です。』

聞く側は、何となくわかりはするのですが、「面接試験」と、「試験」という言葉がつくだけに、その都度アドバイスはしましたが、意識しないとうっかり言ってしまうのか心配しています。場に合わせた言葉の使い方は、大人になるにつれて必要です。



毎月第1日曜日は、「家庭の日」

熊本県では、平成27年度から、毎月「家庭の日」を設けて、運動部活動の大会を開催しない、練習や練習試合等を行わないという約束を設けて、家族とゆっくり過ごすようにしています。各種団体等にも浸透して、ほとんど大会が行われなくなりましたが、日程調整がつかず実施されることもあります。その場合は、翌週の日曜日が「家庭の日」となります。文化系の活動も同様の考え方です。



「南関町教育委員会学力向上研究推進校」

南関町では、2年間の研究期間を設け、各学校が交代で研究を進める取り組みを長年継続しています。

本年度は、南関第一小学校が、2年間の取組内容と研究の成果を11月27日（金）に発表します。



また、中学校は本年度から研究指定を受けました。1年目の成果を2月に中間発表として行う予定です。

本来なら発表校に町内全小中学校職員が集まり、授業を参観して研修を行うのですが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、発表校へ集まることができません。そこで、南関一小ではオンラインによる研究発表会の準備を進めています。複数のカメラを教室内に



配置して、授業の様子を各学校へ送信します。

直接授業を参観するのと同じぐらいに学習指導状況や児童の様子などを、パソコン画面を通して研究会参加者に理解してもらわなければなりません。発表会準備にご苦労されているようですが、この取り組みはこれまでに経験することがなかった新しい研究会のあり方です。

南関中学校の中間発表会も、オンライン発表会を行う予定です。



「学校ホームページ」も

ご覧ください。

ホームページでは、以下の内容を定期的に更新しています。

- ◇月行事予定表
- ◇月ごとの部活動計画
- ◇学校だよりです。

また、学校から配付した文章も必要に応じて掲載するようにしています。

さらに、以下のような内容もあります。

- 「歴代校長一覧」〔南関中学校の沿革〕参照
同じ頁に「学校沿革」もあり、昭和22年から令和元年度までの学校の流れを年度ごとに整理して、生徒数や施設の設置状況、中体連大会等の主な成績などを知らせています。
- 「学校経営構想」〔南関中学校の目標〕参照
校訓及び学校教育目標の達成に向けて、どのように教育活動を行っているか知ることができます。

※ 生徒の様子を、画像を通してたくさんお知らせしたいのですが、様々な問題が生じる可能性がありますので控えています。

次の「とっば食堂」は、
11月6日（金）

